

## 環境行動計画

FDKグループでは、3年に1度「環境行動計画」を策定し活動しています。「第三期環境行動計画(2004年～2006年度)」の初年度である2004年度は、省エネルギーおよび廃棄物の削減、化学物質の排出量削減、グリーン調達の推進で充実した成果をあげる事ができました。引き続き、より一層の向上を目指し、全員参加で取り組んでいきます。

### 第三期 環境行動計画(2004年～2006年度)に対する実績

項目	行動計画	実績(2004年度)
環境経営の強化	環境マネジメントシステムに基づく環境経営の枠組みを、2005年度末までにグループ全社で確立する。 ・本社、営業を含めた国内の全領域に環境マネジメントシステムの導入を図る。	本社・営業で構築するのに適した環境マネジメントシステム(EMS)を調査し、エコステージ方式が最適との結論としました。  (P9参照)
グリーン調達	取引先における環境マネジメントシステム(EMS)を推進する。 ・日本国内の製造拠点を活動の対象とし、環境マネジメントシステムが構築されていない取引先に対して環境マネジメントシステムの構築を推進する。 ・構築する環境マネジメントシステムは、ISO14001、EMAS、エコアクション21、エコステージ、地域独自の環境マネジメントシステム、等の第三者認証機関が認証したもの、又は、富士通グループ環境マネジメントシステム(略称:FJEMS)、FJEMSと同様レベルの新たに考案したFDKグループ環境マネジメントシステム、FDKが認めた取引先独自の環境マネジメントシステムとする。	お取引先の実態に合わせて構築いただくため、当社独自のFDKEMSを2段階の難易度で考案しました。 お取引先へ、FDKEMSの説明会と構築のための指導を行い、22社で新規構築いただきました。  (P10参照)
製品環境対策	環境トップ要素を持つスーパーグリーン製品を、2006年度末までに提供する。 ・省エネ、3R(Reduce, Reuse, Recycle)設計、有害物質などの環境要素を先行取り込みした「グリーン製品」(環境配慮強化型製品)の中でも、「世界初」、「世界最小」、「国内初」、「業界初」、「国内最小」、「業界最小」となるトップランナー製品である「スーパーグリーン製品」(環境配慮トップ型製品)を2006年度末までに提供する。	電子材料や電子部品などについて、スーパーグリーン製品化のための調査・試作を実施しました。  (P11参照)
	全ての製品に含有する富士通グループ指定有害物質を、2005年度末までに全廃する。ただし、RoHS対象の欧州向け製品は、2004年12月末までに対応する。 ・富士通グループ指定有害物質31物質群を全ての製品において2005年度末までに全廃する。 ・欧州向けのRoHS対象製品は、鉛、カドミウム、水銀、6価クロムの化合物および、PBB、PBDEについて、2004年12月末までに対応する。	富士通グループ指定有害物質については、2005年度末全廃に向けて代替品への検討と切り替えを進めています。  RoHS対応につきましては、新規開発品は全て期限内に全廃できました。既存製品においては、2004年12月末までに全廃できないものがありました。 (P14参照)
地球温暖化防止	エネルギー消費CO <sub>2</sub> を2006年度末までに2000年度実績比15%削減する。 ・国内事業所におけるエネルギー消費CO <sub>2</sub> を2006年度末までに2000年度実績比15%削減する。	エネルギー消費CO <sub>2</sub> は2000年度実績比で、61%削減できました。 (2000年度実績53,998トンに対し、2004年度実績は21,070トン) (P15参照)
	物流・リサイクル・省エネ製品等により削減貢献。 ・物流改善、製品・包装材のリサイクル、省エネ製品の開発及び購入によりCO <sub>2</sub> の削減を促進する。	トラックへの積載効率改善や配送ルート形態の見直しによる、物流燃料の削減を推進しています。通いトレイ(TPTレイ)などによる包装材のリサイクルも促進しています。 (P16参照)
グリーンファクトリーの推進	化学物質(PRTR対象物質)の排出量を、2006年度末までに2001年度実績比で15%削減する。 ・国内の事業所を対象として、PRTR対象化学物質の排出量を2006年度末までに、2001年度実績比で15%削減する。	対象化学物質の排出量は2001年度実績比で、68%削減できました。 (2001年度実績5.5トンに対し、2004年度実績は1.74トン) (P17参照)
	廃棄物発生量を2006年度末までに2003年度比で3%削減する。 ・国内の事業所を対象として、廃棄物の発生量を2006年度末までに2003年度比で3%削減する。 ・なお、2004年度末までにゼロエミッションを達成する。(第二期環境行動計画の2005年度末までに1年前倒しで実施する。)	廃棄物発生量は2003年度実績比で、13%削減できました。 (2003年度実績2,081トンに対し、2004年度実績は1,816トン) 2004年度末には国内全生産拠点において廃棄物ゼロエミッションを達成しました。(P18参照)

第三期環境行動計画(2004年～2006年度)の途中年度につき、活動実績のみを御報告させていただきます。